

18版中学国語3年 出典一覧

国語三	出典				
	教材名	書名	著作者	出版社	発行年
	わたしを束ねないで	新川和江詩集	新川和江	角川書店	1973
	握手	ナイン	井上ひさし	講談社	1990
	メディア社会を生きる	書きおろし	水越伸		
	俳句の可能性	書きおろし	宇多喜代子		
	どの子にも涼しく風の吹く日かな	現代俳句15人集1 忘音	飯田龍太	牧羊社	1968
	せつせつと眼まで濡らして髪洗ふ	句集 鳳蝶(愛蔵版)	野澤節子	牧羊社	1974
	虫の夜の星空に浮く地球かな	句集 夏の峠 花神俳人選	大峯あきら	花神社	1997
	咳をしても一人	放哉俳句集 大空	尾崎放哉	春秋社	1926
	灰色の象のかたちを見にゆかん	楢円の昼 句集	津沢マサ子	深夜叢書社	1975
	高瀬舟	鷗外全集 第十六巻	森 鷗外	岩波書店	1973
	挨拶 原爆の写真によせて	現代詩文庫46 石垣りん詩集	石垣りん	思潮社	1971
	故郷	魯迅文集 第一巻	魯迅 竹内 好 訳	筑摩書房	1976
	音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	古今和歌集(日本古典文学大系 8)	紀貫之	岩波書店	1955
	春過ぎて夏来るらし白栲の衣乾したり 天の香具山	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	持統天皇	岩波書店	1957
	東の野に炎の立つ見えてかへり見すれば 月傾きぬ	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	柿本人麻呂	岩波書店	1957
	天地の 分かれし時ゆ 神さびて 高く貴き 駿河なる 布土の高嶺を 天の原 振り放け見れば 渡る日 の 影も隠らひ 照る月の 光も見 えず 白雲も い行きはばかり 時 じくそ 雪は降りける 語り継ぎ 言 ひ継ぎ行かむ 不尽の高嶺は	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	山部赤人	岩波書店	1957
	田児の浦ゆうち出でて見れば真白 にそ不尽の高嶺に雪は降りける	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	山部赤人	岩波書店	1957
	憶良らは今は罷らむ子泣くらむそ を負ふ母も吾を待つらむそ	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	山上憶良	岩波書店	1957
	君待つと吾が恋ひをれば我が屋戸 のすだれ動かし秋の風吹く	萬葉集一(日本古典文学大系 4)	額田王	岩波書店	1957

国語三	出典			
	教材名	書名	著作者	出版社
多摩川にさらす手作りさらさらに何 その児のここだ愛しき	萬葉集三(日本古典文学大系 6)	東歌	岩波書店	1960
父母が頭かき撫で幸くあれていひ し言葉ぜ忘れかねつる	萬葉集四(日本古典文学大系 7)	防人歌	岩波書店	1962
新しき年の始めの初春の今日降る 雪のいや重け吉事	萬葉集四(日本古典文学大系 7)	大伴家持	岩波書店	1962
人はいさ心も知らずふるさと花ぞ 昔の香にほひける	古今和歌集(日本古典文学大系 8)	紀貫之	岩波書店	1955
しら露の色はひとつをいかにして 秋の木の葉をちちにそむらむ	古今和歌集(日本古典文学大系 8)	藤原敏行	岩波書店	1955
思ひつつ寝ればや人の見えつら む夢と知りせばさめざらましを	古今和歌集(日本古典文学大系 8)	小野小町	岩波書店	1955
飛鳥川淵は瀬になる世なりとも思 ひそめてむ人は忘れじ	古今和歌集(日本古典文学大系 8)	よみ人しらず	岩波書店	1955
花さそふ比良の山風吹きにけりこ ぎ行く舟の跡みゆるまで	新古今和歌集(日本古典文学大系 28)	宮内卿	岩波書店	1955
道の辺に清水流るる柳かげしばし とてこそ立ちどまりつれ	新古今和歌集(日本古典文学大系 28)	西行法師	岩波書店	1955
見わたせば花もみぢもなかりけり 浦の苫屋の秋の夕暮	新古今和歌集(日本古典文学大系 28)	藤原定家	岩波書店	1955
玉の緒よ絶えなば絶えねながらへ ば忍ぶることのよわりもぞする	新古今和歌集(日本古典文学大系 28)	式子内親王	岩波書店	1955
夏草 「おくのほそ道」から	芭蕉文集(日本古典文学大系 46)	松尾芭蕉	岩波書店	1954
学びて時にこれを習ふ 「論語」から	論語(新釈漢文大系 第1巻)		明治書院	1960
生き物として生きる	書きおろし	中村桂子		
炎を見る 赤き城の伝説	「プロジェクトX 挑戦者たち13 願いよ届け 運命の大勝負」 所収の「炎を見る 赤き城の伝説 首里城・執念の親子瓦」 に、筆者が加筆したもの。	伴田 薫	日本放送出版協会	2002
アラスカとの出会い	旅をする木	星野道夫	文藝春秋	1995
温かいスープ	書きおろし	今道友信		
奈々子に	吉野弘詩集	吉野 弘	青土社	1981
「はじめに……」について	すべてきみに宛てた手紙	長田 弘	晶文社	2001

国語三	出典				
	教材名	書名	著作者	出版社	発行年
俳句十六句					
梅一輪一輪ほどの暖かさ	俳句大観	服部嵐雪	明治書院	1971	
夏河を越すうれしさよ手に草履	古典俳文学大系12 蕪村集全	与謝蕪村	集英社	1972	
稲妻にへなへな橋を渡りけり	古典俳文学大系15 一茶集	小林一茶	集英社	1970	
木枯の果はありけり海の音	俳句大観	池西言水	明治書院	1971	
赤い椿白い椿と落ちにけり	日本詩人全集30 河東碧梧桐他	河東碧梧桐	新潮社	1969	
ちるさくら海あをければ海へちる	近代俳句大観	高屋窓秋	明治書院	1974	
人体冷えて東北白い花盛り	現代俳句全集 二	金子兜太	立風書房	1977	
六月を綺麗な風の吹くことよ	子規全集 第二巻 俳句二	正岡子規	講談社	1975	
あるけばかつこういそげばかつこう	俳句大観	種田山頭火	明治書院	1971	
山越える山のかたちの夏帽子	現代俳句全集 二	桂 信子	立風書房	1977	
くろがねの秋の風鈴鳴きにけり	俳句大観	飯田蛇笏	明治書院	1971	
月幾夜照らせし鴟尾に今日の月	俳句大観	水原秋櫻子	明治書院	1971	
まだ夢はあるか きつつき木を覗く	句集 走れば春	鎌倉佐弓	東京四季出版	2001	
流れ行く大根の葉の早さかな	高濱虚子集	高浜虚子	筑摩書房	1957	
咳をする母の見上げてある子かな	汀女句集	中村汀女	養徳社	1944	
木の葉ふりやまずいそぐないそぐなよ	俳句大観	加藤楸邨	明治書院	1971	
二つの悲しみ	生きるかなしみ	杉山竜丸	筑摩書房	1995	
宇宙を見渡す目	書きおろし	小平桂一			
受け継がれる物語 「史記」と「項羽と劉邦」	「史記」 漢文名作選 2 歴史	司馬遷	大修館書店	1984	
	「項羽と劉邦」 項羽と劉邦 下	司馬遼太郎	新潮社	1980	